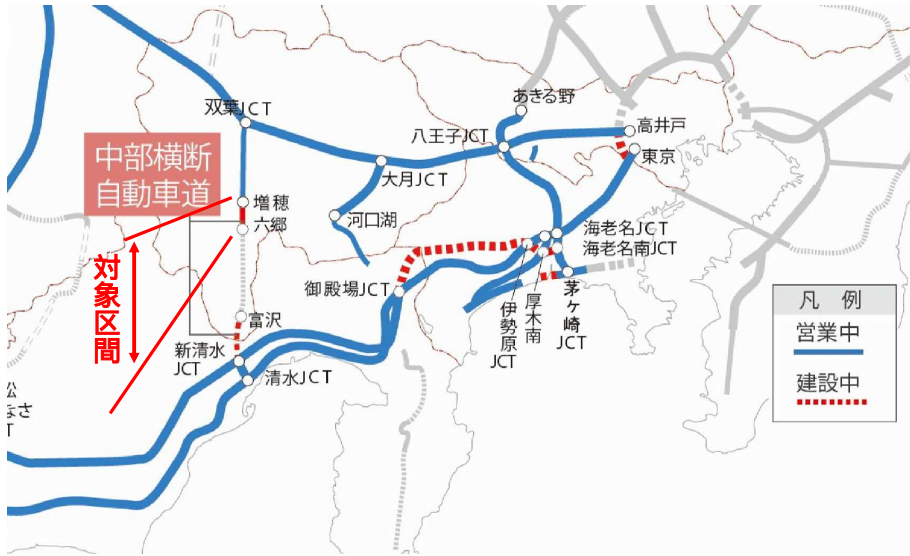


再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課： 道路局高速道路課

担当課長名： 吉岡 幹夫

事業名	中部横断自動車道 ろくごう ますほ 六郷～増穂		事業区分	高速自動車国道	事業主体	中日本高速道路(株)
起終点	自) 山梨県西八代郡市川三郷町宮原 やつしろ いちかわみさと みやはら みなみこま ふじかわ おおくぬぎ 至) 山梨県南巨摩郡富士川町大 槻			延長	10 km	
事業概要						
中部横断自動車道は静岡・山梨・長野3県を最短ルートで結びとともに、東名・中央・上信越自動車道とネットワークを形成することにより、沿線地域の産業・経済・文化・観光等の発展及び振興に資する路線である。						
H11年度事業化		H8年度都市計画決定		H19年度用地着手		H19年度工事着手
全体事業費		729億円		事業進捗率		25% 供用済延長 0 km
計画交通量		7,900台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)		基準年
	(事業全体) 1.1 (残事業) 2.5	337/764億円 事業費： 274/701億円 維持管理費： 63/63億円		848/848億円 走行時間短縮便益： 680/680億円 走行費用減少便益： 127/128億円 交通事故減少便益： 40/40億円		平成27年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施						
交通量変動 : B/C=2.8 (交通量 +10%) B/C=2.3 (交通量 -10%)						
事業費変動 : B/C=2.3 (事業費 +10%) B/C=2.7 (事業費 -10%)						
事業期間変動 : B/C=2.5 (事業期間 -1年) B/C=2.4 (事業期間 +1年)						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） 物流効率化の支援（重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる） 安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） <p style="text-align: right;">他12項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
<p><山梨県> 中部横断自動車道の新清水～増穂間は、高規格幹線道路網計画のミッシングリンクとなっており、当該区間の整備は本県の切なる願いである。 当該区間を含む中部横断自動車道の整備により、日本海及び太平洋の臨海地域と本県との連携が強化され、清水港等の活用による海外との物流の促進や広域的観光の振興による本県経済の発展が促される。 また、平成26年2月の豪雪では、高速道路が、救助や緊急輸送路の基軸として、多大な効果を発揮することが改めて認識されたところであり、東海・東南海地震や富士山噴火などによる重大な災害の発生が危惧されている現在、中部横断自動車道は、広域的防災体制を強化するとともに、災害時の緊急輸送路としての役割を担うなど、国民の命と暮らしを守るために不可欠な「命の道」となる。 本県の政策には、当該事業の進捗に併せて進めている項目も多いことから、計画どおり本事業を継続するとともに、増穂～六郷間の平成28年度完成を切にお願いしたい。</p>						
事業評価監視委員会の意見						
対応方針（原案）のとおり了承。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
<ul style="list-style-type: none"> 甲府市から静岡市間の所要時間は国道52号を利用した場合、140分を要している。 隣接する富沢～六郷間は、新直轄として整備中。 						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
工事実施中						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
今後も引き続き用地取得の推進を図るとともに順次工事に着手する予定。						
施設の構造や工法の変更等						
新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。						

対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。
事業概要図	 <p>The map illustrates the Chubu Cross-Country Expressway project. It shows a network of roads connecting various regions in the Chubu area of Japan. Key locations marked include 双葉JCT, 増穂六郷, 富沢, 新清水JCT, 清水JCT, 河口湖, 御殿場JCT, 伊勢原JCT, 厚木南, 茅ヶ崎JCT, 海老名JCT, 海老名南JCT, 八王子JCT, 大月JCT, あきる野, 高井戸, and 東京. A red box labeled '中部横断自動車道' (Chubu Cross-Country Expressway) is positioned over the route between 増穂六郷 and 富沢. A red double-headed arrow labeled '対象区間' (Target Section) indicates the specific segment of the project. A legend in the bottom right corner, titled '凡例' (Legend), defines the line styles: a solid blue line for '営業中' (Operational) and a dashed red line for '建設中' (Under Construction).</p>

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの